
プロフィール

福岡県福岡市出身。

姉の彩は4歳より、妹のリサは3歳よりピアノを始め、彩6歳、リサ4歳の時よりピアノデュオを始めました。2021年、最難関として知られるARDミュンヘン国際音楽コンクールピアノデュオ部門において、日本人デュオとして初の第3位入賞・併せて聴衆賞・特別賞を受賞。

2019年3月ポーランド・グダニスクにてリサイタルを行ないました。第21回シューベルト国際ピアノデュオコンクール（チェコ）にて第1位を受賞するなど、数々のコンクールにおいて優勝・入賞を重ねています。

2022年3月、日本センチュリー交響楽団定期演奏会において、久石譲作曲「Variation 57 ～2台のピアノのための協奏曲～」管弦楽版を作曲者自身による指揮のもと世界初演。同年9月にハワード・グリフィス指揮、ウィーン放送交響楽団と、10月にはジョナサン・ノット指揮、東京交響楽団とモーツァルト「2台のピアノのための協奏曲 K. 365」を共演。2023年5月、九州交響楽団定期演奏会（パスカル・ロフェ指揮）と2024年10月、パシフィックフィルハーモニア東京定期演奏会（飯森範親指揮）では、プーランク「2台のピアノのための協奏曲」を共演。

また、2023年8月のデュオ・リサイタルでは、向井響に委嘱、世界初演した「交響的ソナタ」の好演が話題を呼ぶなど、新作や現代曲にも意欲的に取り組み、新たなピアノデュオの可能性を追求し続けています。

2024年10月18日にはフランスの名門レーベルALPHA CLASSICSよりモーツァルト「2台のピアノのための協奏曲」を、11月6日には待望のデビューアルバム〈Duettist〉をフォンテックよりリリース。

NHK-FM「ありがとうFM50」生放送での演奏のほか、NHK BSプレミアム「クラシック倶楽部」、NHK-FM「ベストオブクラシック」、TNC「記者のチカラ」、フジテレビ「めざましテレビ」など、メディアにも数多く出演しています。

姉妹ともに東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程ピアノ科で学び、ドイツ国立ロストック音楽・演劇大学ピアノデュオ科修士課程、および同大学の国家演奏家資格課程を最優秀の成績で修了。

姉妹共に囲碁三段の免状を持ち、NHK Eテレ「囲碁フォーカス」「新春囲碁スペシャル」などにも出演しています。

